

平成 31 年 3 月 5 日

青野産業株式会社
応用技術株式会社
都市・地域環境部
(扱い加藤様)

吉田地区自治実践会
会長 加瀬 孝雄

住民説明会に対する「意見」について

「(仮称 9) 水戸元吉田 PJ 計画」の大規模小売店舗立地法届出要約書に基づき、平成 31 年 1 月、水戸市吉田市民センターにおいて住民説明会が開催され、事業計画や届出事項の概要、来店経路図等付近の道路事情等の説明を受けましたが、当日、数人から交通問題を含め意見、要望等が寄せられていること、及び吉田地区自治会役員会（運営委員会）においても意見がありますので、改善等が図られるよう要望いたします。

記

- 1 住民説明会日時
平成 31 年 1 月 25 日（金） 午後 6 時 30 分
- 2 開催場所
水戸市元吉田 1 7 3 6
吉田市民センター
- 3 道路環境等への対応について（要望）
 - (1) 渋滞緩和対策（要望）

大型店舗ができることは、歓迎すべきところではあります。

現在、国道 50 号線は、酒門交差点から米沢陸橋、サントル千波方面まで上下線とも朝夕は、慢性的な渋滞が発生しております。

地域においては、2 年前、第四中学区（吉田、吉沢、酒門地区）内において 4,925 名の署名を元に、県内第 3 位の交通事故多発の酒門交差点の立体化要望を行い、国交省関東地方整備局常陸河川工事事務所や茨城県土木部に働きかけているところで、通行車両の絶対量が多い中、さらに一日 3,000 台近くの車両の出入りを見込むこのような「(仮称 9) 水戸元吉田 PJ 計画」は、交通環境をさらに悪化させること

に繋がり、不安が残ります。多くの地区住民の意見でもあります。

このことは、本年 2 月 19 日（火）「酒門交差点立体化・早期実現推進協議会」を開催し、衆議院議員田所嘉徳、加藤県議、館県議、高崎県議等顧問の出席を頂き、前記、国交省常陸河川工事事務所、茨城県土木部に対して、酒門交差点立体化の早期実現を求め、渋滞緩和、交通事故防止策など解消を図るよう議員等からも要望をしたところであります。

(2) 合理的な交通規制と事故防止対策（要望）

桜通りから米沢町交差点を右折、水戸工業高校前の合流地点、水戸工業東交差点、さらに吉田小東交差点は、渋滞箇所でもあり、交通事故の多発交差点である。信号現示や矢印灯火、ゼブラやハンプ標示を行い、交通事故防止、渋滞緩和対策を県、市、警察等の関係機関と連携し、対応策を示して欲しい。

(3) 来客への専用バスなどの提供（要望）

企業が社会責任を果たし社会貢献を通じ地域の活性化、利便性を考慮し地域に密着した活動を展開し、共に成長していくとの社是があるのなら、水戸駅から専用の往復バスの活用など渋滞緩和策の一つとして、水戸市、民間バス会社等と協議し検討して頂きたい。

(4) 防災に配慮した店舗のあり方

大規模地震（震度 7）の地震では、同時多発火災が懸念されます。付近東側、南側は住宅密集地です。住宅の耐震化率は 85%、震度 7 程の地震では、耐震化されていない住宅は全壊、半壊で約 6 割を占め、火災の発生が増加します。阪神淡路大地震の如く、市消防の消火能力をはるかに超えた火災で、水利も途絶え、街は、延焼し続け、一帯を蹂躪、焼け尽くし、消防は本来の消火作業は諦め、住民避難を呼びかけ、放任火災となった実態があります。

以上 4 項目の対応を意見として申し上げます。なお、回答は、吉田地区自治実践会あて

お願い申し上げます。